様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物さやいんげん栽培暦　　ＪＡきみつ　平川ハウスインゲン生産グループ

１．土づくり

一般ふすまを利用した土壌還元消毒の実施。堆肥の利用

２．施肥　　☆施肥診断にもとずく施肥量の遵守　化成由来窒素上限　基肥+追肥 12 kg/10ａ

基肥で有機由来窒素１００％以外の肥料を用いる場合は追肥に十分注意する。

	肥料名	成分量	施肥量	有機由来窒素
基肥	スーパー有機ペレット５５５２	５－５－５	４８０kgまで	５％
	ヘルシー有機１００特号	５－６－２	４８０kgまで	５％
	有機アグレット６７３	６－７－３	４８０kgまで	６％
	有機アグレット６５５eco	６－５－５	４８０kgまで	６％
	スーパー有機ペレット８８８２	８－８－８	２４０kgまで	３．１％
	ジシアン有機特８０６	８－１０－６	２００kgまで	２．５％
	インゲン専用　１２号	１２－８－８	１１０kgまで	１．９％
	ロイヤルグアノ	リン酸肥料	６０kgまで	-
追肥	トミー液肥（レッド）	１２－５－５	１００kgまで	０．２％
	※潅水設備の無い圃場についてはスーパーエコロング４２４（１００日）を施肥する。			

３．防除

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施等）
２月上旬	播種					育苗ハウス内の除草
中旬	移植					黄色粘着とラップを吊るす
下旬						
３月上旬	定植	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	ｱﾄﾞﾏｲﾔｰ１粒剤	１～２ｇ／株	アブラムシ類	ハウスの換気部、入り口にサンサンネット等を張り害虫の侵入を防ぐ
中旬						
下旬	追肥 潅水	灰色カビ	アグロスリン乳剤	2000倍	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	
４月上旬	摘心	ｱｻﾞﾐｳﾏ類	カスケード乳剤	2000倍	ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	ｱﾌﾞﾗﾑｼ・ｺﾅｼﾞﾗﾐ・ﾊﾀﾞﾆ・ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴの発生原因であるハウス周辺の除草作業をする
中旬	追肥 摘葉 潅水	ﾊﾀﾞﾆ類 菌核 灰色ｶﾋﾞ				
下旬			ｱﾌｧｰﾑ乳剤	2000倍	ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	アザミウマ類多発圃場にはスワルスキーを使用し防除を行う
５月上旬	収穫開始		ｱﾐｽﾀｰ20 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	2000倍	灰色かび病	
中旬	一番最盛		ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤	3000倍	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	その他生物農薬等を利用して化学農薬の使用回数を減らしていく
下旬			ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ	1000～2000倍	ハダニ類	
６月上旬	追肥 潅水 摘葉		ｾｲﾋﾞｱ-ﾌﾛｱﾌﾞﾙ20 モスピラン顆粒水溶剤 パレード20フロアブル	1000～1500倍 2000～4000倍 2000～4000倍	灰色かび病 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 菌核病・灰色かび病	
中旬	二番最盛		ｾｲﾋﾞｱ-ﾌﾛｱﾌﾞﾙ20	1000～1500倍	灰色かび病	
下旬	終盤					

※農薬使用時は表示ラベルを再度確認し、登録内容を遵守する。